

1 すかがわしの台所事情

いまの家計簿はどんなかんじ？

※令和6年度須賀川市一般会計決算規模376億円を、1年間の支出376万円の家計に例えて、月あたりの内訳を出しました。⇒ 年の支出合計 376万円 ÷ 12か月 = 月の支出合計 31万3千円

<毎月の収入>

お給料 282,000円
(市税等、国・県支出金等)

【月の収入合計】 282,000円

<毎月の支出>

食費など 54,000円(17.2%)
(人件費)

医療費など 73,000円(23.3%)
(扶助費)

借金返済 30,000円(9.6%)
(公債費)

光熱費・衣服代 41,000円(13.1%)
(物件費)

ものの修理など 4,000円(1.3%)
(維持補修費)

町内会費・活動費 44,000円(14.1%)
(補助費 ※病院、消防及び
ごみ処理に対する負担金など)

自宅増改築 30,000円(9.6%)
(普通建設事業費、
投資及び出資金)

子どもへの仕送り 22,000円(7.0%)
(特会繰出金)

貯金 2,000円(0.6%)
(基金積立金)

翌月支払額 13,000円(4.2%)
※クレジットカード等
(繰越金)

【月の支出合計】 313,000円

1 すかがわしの台所事情

いまの家計簿はどんなかんじ？

※令和6年度須賀川市一般会計決算規模376億円を、1年間の支出376万円の家計に例えて、月あたりの内訳を出しました。⇒ 年の支出合計 376万円 ÷ 12か月 = 月の支出合計 31万3千円

<収入と支出の差額>

【収入額】	【支出額】
282,000円	313,000円
= <u>△31,000円</u> ⇒ 月の赤字	

<赤字分は？>

銀行から借金 (市債)	16,000円
貯金引出し (基金繰入)	15,000円
【月の赤字分は】	<u>31,000円</u>

<1年間の赤字は>

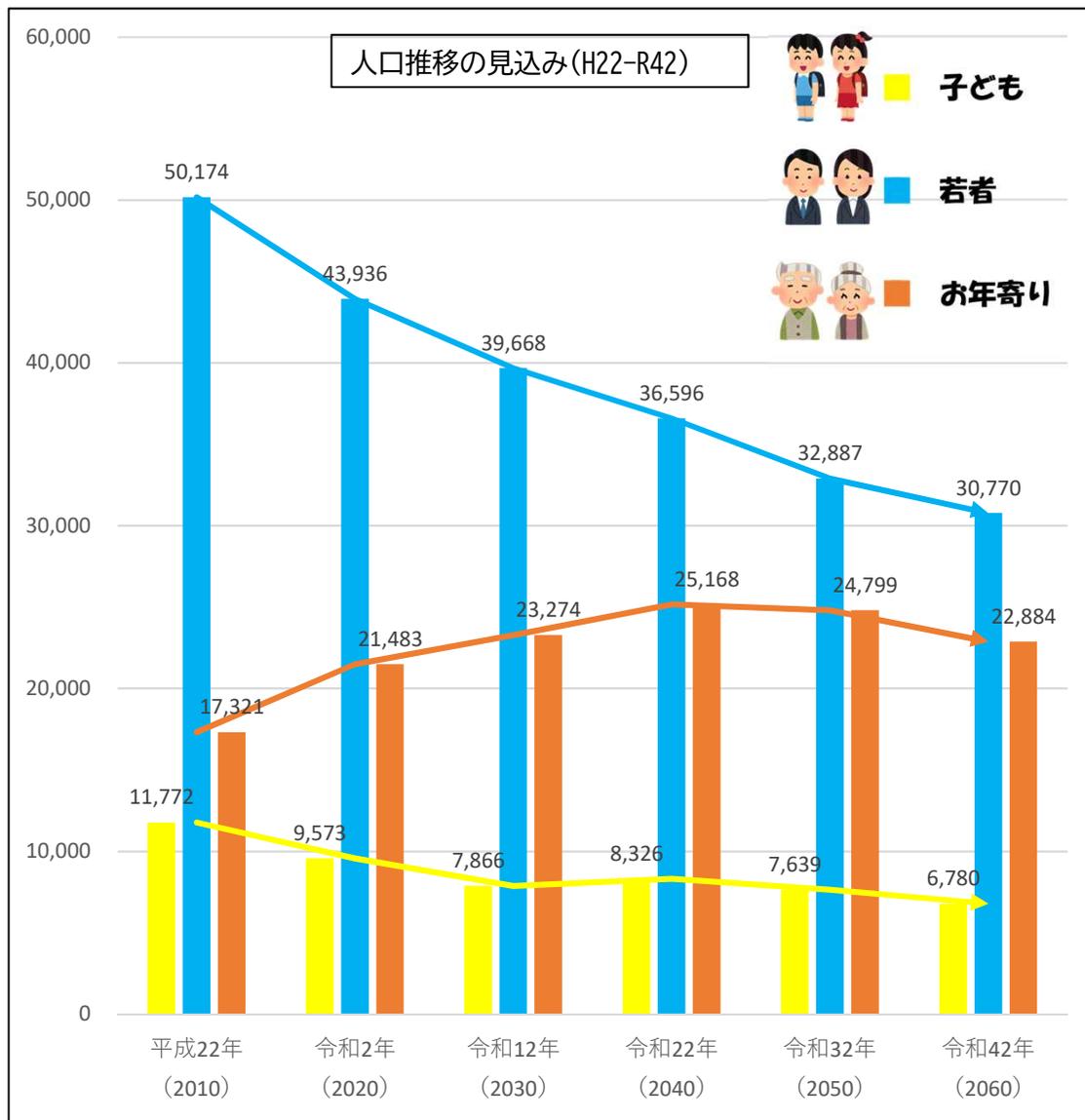
【借金総額】
16,000円 × 12か月 = <u>192,000円</u>
【貯金の引出し総額】
15,000円 × 12か月 = <u>180,000円</u>

<1年後の借金と貯金>

借金は (市債残高)	<u>3,968,000円</u>
貯金残高は (基金残高)	<u>163,000円</u>

2 すかがわしの人口変化

人口で何が変わるの？



資料：H27人口ビジョン、第9次総計による時点修正データより

人口の減少

須賀川市に住む人の数は減っていくため、税金も減ってしまうので、全体で使えるお金も少なくなります。

少子高齢化

子どもや若者の人数が減り、お年寄りの人数が増えていくと予想できます。

そのため、お年寄りを支える若者の負担が増えていきます。



公共施設

学校や図書館、体育館などの施設は、税金が使われています。そのため、税金が減ると、今まで通りあたりまえにできたことが、いろいろとできなくなります。

3 すかがわしの財政状況

お財布や貯金はどんなかんじ？

収入と支出

赤の折れ線グラフは、お財布のお金に対して、必ず使うお金の割合です。数字が大きいくほど、お財布に余裕がないので、自由に使える分がありません。

貯金の切り崩し

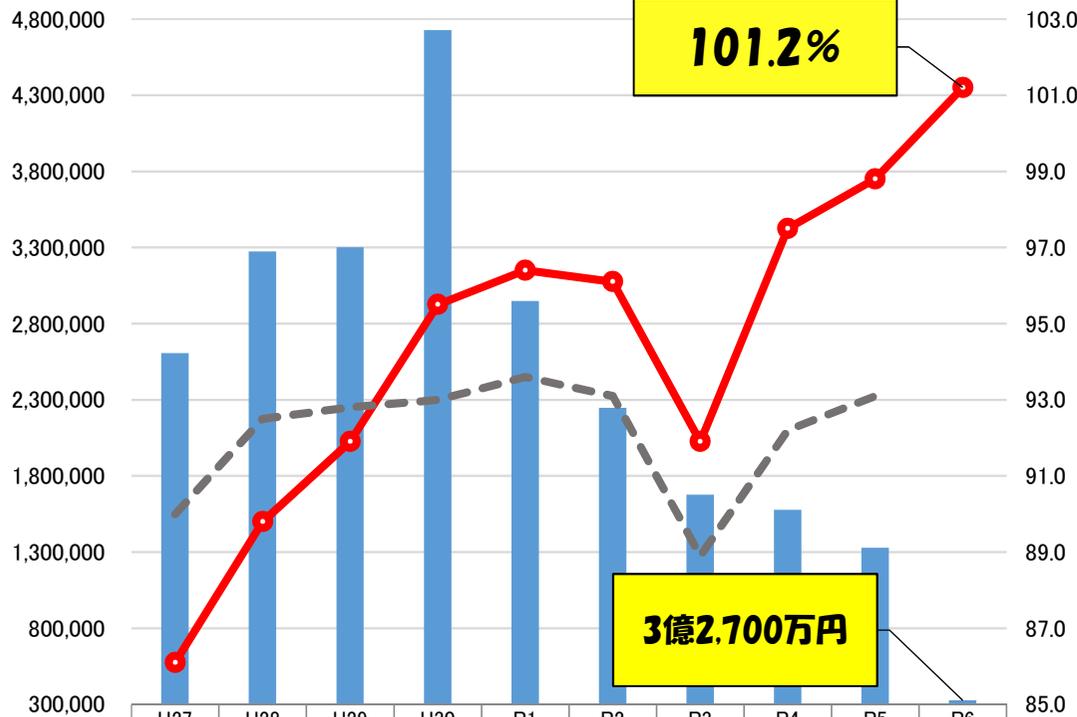
青の棒グラフは、貯金の残り分です。平成30年度から毎年減り続け、令和6年度にはほとんど残っていません。これは、家計の赤字が続き、貯金を使い続けてきたからです。

貯金がなくなったら

貯金が残っていないと、緊急事態（地震や台風の災害など）が起きた時に、なにもできなくなってしまいます。

単位：千円

単位：%



基金残高(財調)	2,605,000	3,274,000	3,300,000	4,726,000	2,947,000	2,247,000	1,677,000	1,577,000	1,327,000	327,000
経常収支比率	86.1	89.8	91.9	95.5	96.4	96.1	91.9	97.5	98.8	101.2
経常収支比率の全国平均	90.0	92.5	92.8	93.0	93.6	93.1	88.9	92.2	93.1	

なぜこうなった？

- ・ 少子高齢化により介護・医療費が増えた。(社会保障費の増大)
- ・ 地震、台風、新型コロナウイルスなどへの緊急対応。(災害対応等)
- ・ 毎日の生活に必要なものの値段が全体的に上がった。(物価高騰) 等の積み重ね

4 すかがわしがり組んでいること

集中改革プランの内容

計画期間 令和7年度～令和9年度の3年間

計画目標

- ・経常収支比率の改善（95%以下）
- ・財政調整基金残高の確保（標準財政規模の約5%の9億円）

**支出を見直して
お財布に余裕を作る**
貯金をためる

重点目標1 効果的・効率的な行政経営の推進

取組事項1	事務事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果、市民ニーズ・行政関与の必要性、目的達成度の視点から見直し ・事務事業の見直しによる職員数の適正化
取組事項2	公共施設マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の現状確認と整理、運営方法の見直し ・民間活力（包括管理業務委託等）の導入検討

重点目標2 持続可能な財政基盤の確立

取組事項1	健全な財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成業務プロセス、補助金、使用料・手数料等の見直し ・市の債権の収納率向上
取組事項2	税外収入の確保・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税等の戦略的拡大 ・公有財産の有効活用（ネーミングライツ、広告収入の確保等）

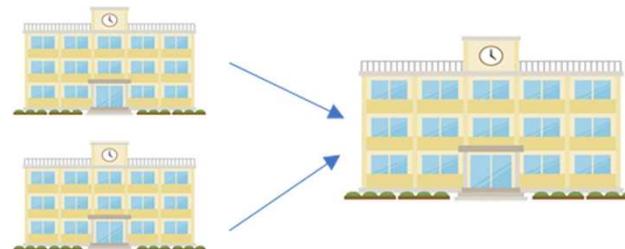
4 すかがわしが行っていること

市民の皆様にご協力いただきたいこと

公共施設などについて

たくさんある施設の全部は残せないで、減らしていく必要があります。みなさんが使っている施設も対象になると思いますが、ご協力をお願いいたします。

- 【例えば】
- ・似ているものは一つにまとめる。
 - ・古いものはなくす。
 - ・しばらくお休みする。



休館や開館時間などについて

公共施設などで、お休みの日を増やしたり、夕方の終わる時間を早くしたりする必要があります。使いたかった時間に使えないということもあると思いますが、ご協力をお願いいたします。

使用料や手数料などについて

施設を使うときの使用料などの値上げが必要になります。施設を維持していくためにも、みなさんのご理解をお願いいたします。

世の中の様子はものすごいスピードで変わっていき、それに合わせて、これまでの「当たり前」もどんどん変わっていきます。

市では、その変化を見極めながら、住み続けたいまちの実現に向けて取り組んでいきますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。